



笹賀の世帯数・人口	
世帯数	4,525 世帯
人口	11,078 人
男	5,611 人
女	5,467 人
(平成 29.7.1 現在)	

思い出は遙か高原の夏

「美ヶ原」自然観察ウオーキング



笹賀公民館は6月19日、「レンゲツツジに染まる・美ヶ原高原を歩く」自然観察ウオーキングを開催し21人が参加しました。山案内の講師に、県自然観察インストラクターで美ヶ原高原パークボランティアの鈴木康夫さんをお願いして、美ヶ原の成り立ちの歴史や、生態系の現実を学びました。

松本市の象徴・青春時代の思い出・美ヶ原

美ヶ原は、松本市の象徴であり、古くから市民の心のよりどころとして、潤いと癒しを与えてくれる山でした。笹賀の里からも遥かに見渡せる山なみは、朝に夕に、その雄姿を眺めて育った多くの人の胸にいきづいています。



ハイキングに近いものでした。牧場を歩いて登り着いた「山本小屋」に泊まり、宵闇迫る高原で立ち込める夕霧の中、クラス仲間と過したひと時が記憶の隅に残っています。

笹賀地区民の母校、「菅野中学校」では、かつて昭和の時代に、1年生の夏、「美ヶ原登山」を行って

「思い出の丘」からロングトレイルコースにはいり「武石峰」をぬけて「自然保護センター」に到着しました。途中の草原に鮮やかなオレンジ色の「レンゲツツジ」の群生が見られました。草原は木立が増え、自然保護運動の先駆けとして、日



「思い出の丘」からロングトレイルコースにはいり「武石峰」をぬけて「自然保護センター」に到着しました。途中の草原に鮮やかなオレンジ色の「レンゲツツジ」の群生が見られました。草原は木立が増え、自然保護運動の先駆けとして、日

「思い出の丘」からロングトレイルコースにはいり「武石峰」をぬけて「自然保護センター」に到着しました。途中の草原に鮮やかなオレンジ色の「レンゲツツジ」の群生が見られました。草原は木立が増え、自然保護運動の先駆けとして、日

仏像ひとつに歴史の重み

笹賀公民館・松本平の歴史文化財めぐり

笹賀公民館は5月15日、歴史文化財講座「松本平の歴史文化財めぐり」を開き13人が参加して、松本市波田地区にある若澤寺跡の遺跡群と、松川村勸松院を訪ねました。講師を元波田町文化財審議員で旧若澤寺研究家の百瀬光信さんと、笹賀地区の上條芳男さんをお願いし、地域を取り巻く人々が文化財の保護に努める姿を学びました。

波田地区文化財

若澤寺跡遺跡群

明治の廃仏毀釈により廃寺になった「若澤寺」は、奈良時代、波田地区の南西にある水沢山に建



盛泉寺 神林の領主であった常和泉殿が開基という「盛泉寺」は、その名前から常泉寺と称していたが寺が栄えるようにと「盛泉寺」に改称されたといわれています。県内最古の国内造「铸造菩薩半跏像」があり、若澤寺にあった救世殿を移し再建した境内の「水澤観音堂」には、純金造の「千手観音像」が安置されています。住職は「普段は金庫の中で眠っている」と笑っていました。特別に披露してくれました。

松川村勸松院 松川村「観松院」の「铸造菩薩半跏像」は国の重要文化財で、飛鳥時代、渡来人により持ち込まれたと考えられ、日本の最古級の金銅仏と言われています。謎の多い歴史的背景が安曇野の地に隠されていて、文化財の保護や地域行事の継承にも、少子高齢化の波が押し寄せています。



松川村勸松院 铸造菩薩半跏像

松川村「観松院」の「铸造菩薩半跏像」は国の重要文化財で、飛鳥時代、渡来人により持ち込まれたと考えられ、日本の最古級の金銅仏と言われています。謎の多い歴史的背景が安曇野の地に隠されていて、文化財の保護や地域行事の継承にも、少子高齢化の波が押し寄せています。



り、自動車道も整備されて年間を通して観光地としての山岳国立公園の威容を誇っています。

知られている「仁王門」も、若澤寺の末寺であった「西光寺」が元禄時代に廃寺の際、地元の人たちにより現在地に移され、若澤寺の山門になったとい

講師の百瀬さんは「笹賀地区には熱心な歴史研究者が大勢いて共に学んでいたことがあ

(東山路)

笹賀公民館大規模改修

平成29年度は笹賀公民館の大規模改修が行われます。どんな改修が行われるのでしょうか。

笹賀公民館は建築から30年を迎え、施設の老朽化に伴い大規模改修工事が行われます。主な目的は、「建物の耐久性確保と機能保持」、「ユニバーサルデザイン(※できるだけ多くの人が利用可能であるようなデザインのこと)の導入」、「エコ改修」となります。

具体的な改修内容としては、外壁・屋根・内装の改修、照明器具のLED化、調理室厨房設備の更新、段差の解消、自動ドア化、トイレの洋式化、太陽光発電設備の設置、窓の改修、冷暖房設備改修、事務室窓口の拡張、和室会議室の洋室化、多目的ホールの吊り天井の撤去：等々、実に様々な改修工事が行われます。

改修工事は1期(7月～11月)、2期(12月～2月)に分けて行われる予定で、7月から1期工事が始まり、7月かそれに伴い、出張所窓口及び地域づくりセンター・公民館事務所は1階和室会議室に仮設されました。従来の出入口(建物南側)は閉鎖されるため、出張所窓口に向かうには、併



福祉ひろば入口(北側)



従来の入口は閉鎖(南側)

設する笹賀地区福祉ひろばの入口(建物北側)を利用することになります。駐車場も北側駐車場のみ利用可能となります。笹賀公民館報では、今後も改修工事の進捗等についてお知らせしていく予定です。

スポーツ大会結果

【笹賀地区ウォーキング大会】

5月28日(日)に笹賀地区ウォーキング大会が開催されました。97名の参加者は、笹賀公民館をスタートし、大島神明宮・金毘羅神社をチェックポイントとして巡り、笹賀公民館をゴールとする約5.7kmの神戸・上二子コースをウォーキングしました。

当日は好天にも恵まれ、参加者は地区内の史跡や景色を感じ、参加者同士の会話も楽しみな汗を流しました。健康のためのウォーキングだけでなく、普段とはまた違った交流の場にもなったのではないのでしょうか。



みんな健康ウォーキング

【第45回笹賀地区町内公民館対抗球技大会】

7月9日(日)に恒例の球技大会が開催されました。今年度の大会は、昨年から種目変更となったソフトボールとソフトバレーボールの2種目で行われ、各種目で熱戦が繰り広げられました。

《ソフトボール》
親睦目的のため、順位付は行いませんでした。

- 《ソフトバレーボール》
- 39歳以下の部
優勝 神戸
準優勝 東耕地
- 40歳以上の部
優勝 上二子
準優勝 下小俣



熱戦の様子

散歩道

今年の梅雨は、雨があまり降らず、夏日が続いていたかと思ったり、前線の停滞と台風3号の発生で大雨となり、例年と少し変わった天候だったように思います。

先日、諏訪市原田泰治美術館で開催している高橋まゆみ人形展に行ってきました。新作の人形が見られると義母も楽しみにしててくれました。

昨年亡くなった義父が義母と飯山の人形館へ何年前かに訪れたことがあり、当時、とても感心して、「本当に昔の年寄りの顔だったよ。」とお茶の時間に話してくれたことや、途中の塩尻峠では、当時の修学旅行は塩尻峠へ笹賀から歩いていった、と話してくれた義父のことを思い出しました。

美術館に着き、高橋まゆみさんの作品を鑑賞すると、人形たちの優しく穏やかでどこか懐かしい表情に、義父を思い出しました。義父は、作品を「昔の年寄りの顔だ。」と言っていました。そんな義父にもどことなく似ていると感じる不思議な時間でした。

今年も梅雨が明けて、亡き人を偲ぶお盆がやってきます。